

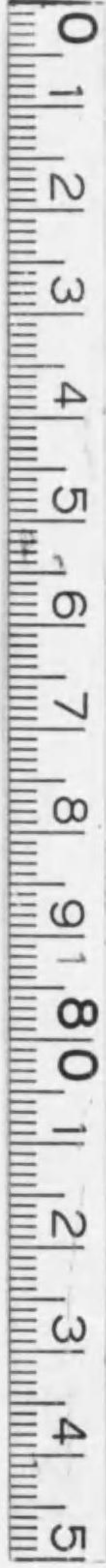
特 252

123

科第二二七號
八年四月

シヤワ面積人口表

財團法人 南洋經濟研究所



始



特 252
123

はし が き

南方諸地方の面積、人口等の統計表の如きは甚だ簡單なるに似たれども未だ一冊に整理綜合せられたるものなし。仍て本研究所に於ては此の點に志し地理學專攻の篠田九萬太氏に委嘱して、先づ南方全般より逐次各地方詳細に及んで面積及人口統計を整理し、取敢へず南洋資料として刊行し、完成の上、綜合して一冊の統計書を編纂せんとす。

昭和十七年十二月十六日

財團法人 南洋經濟研究所

發行所寄贈本

ジャワ面積人口表 目次

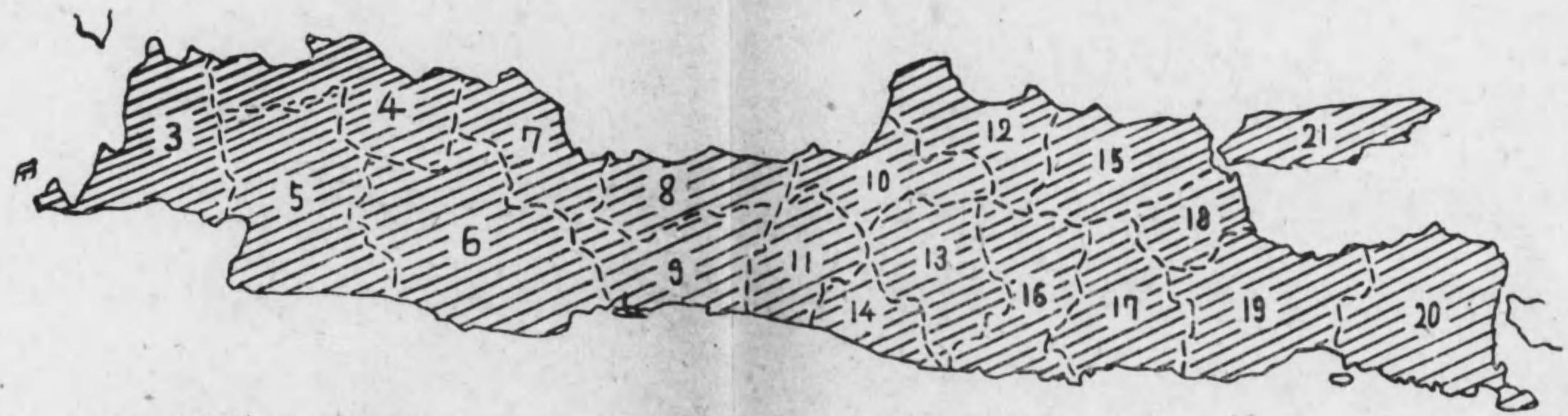
一、	ジャワ	Java and Madura	一
二、	ジャワ島	Java	一
三、	バンタム州	Bantam	一
四、	ジャカルタ州(バタビヤ州)	(Batavia)	二
五、	バイテンソルグ州	Buitenzorg	二
六、	プリアンゲン州	Priangan	二
七、	チェリボン州	Ceribon	三
八、	ペカロンガン州	Pelalongan	三
九、	バンニユマス州	Banjomas	四
一〇、	スマラン州	Semarang	四
一一、	ケドゥ州	Kedoe	四
一二、	レパン州	Zapara Rembang	五
一三、	スラカルタ州	Soerakarta	五
一四、	ジョタジャカルタ州	Zogjakarta	五
一五、	ボジョネゴロ州	Bodjonegoro	六
一六、	マデイウン州	Madjoen	六



一七、ケ	デ	イ	リ	州	Kediri.....	六
一八、ス	ラ	バ	ヤ	州	Soerabaja.....	七
一九、マ	ラ	ン	州	Malang (Paseroean).....	七	
二〇、ベ	ス	キ	州	Besoeki.....	八	
二一、マ	ド	ウ	ラ	州	Madoera.....	八

参 考 文 献

- 1 INDISCH VERSLAG 1941
 - 2 ATLAS VAN TROPISCH NEDERLAND
 - 3 蘭領東印度事情 外務省通商局
 - 4 世界地理第六卷外南洋 I
- 附 圖 一 葉



ジャワ面積人口表

南洋資料227號附圖



番號 地 名 面 積 年 人 口 密 度
 一 ジ ヤ ワ 一三二、一七四・一 一九〇五 三〇、三六〇、六六七 一三三〇・〇
 一九二〇 三四、九八四、一七一 二六六・五
 一九三〇 四一、七一八、三六四 三一五・九

ジャワ島及マドウラ島 (Madura) を以てジャワと稱する。其の位置は歐洲、東亞間の貿易路の要衝マラッカ海峡に近く、又亞細亞と濠洲の中間に位して居る。地理學上、農業生産地として理想的好條件を備へて居り、發達せる熱帯地域の最好例を示し、文化の程度の高い住民居住し、人口密度は我が本州の一・四倍に達して居る。

註一、註二、蘭領東印度事情に據る。註三及面積は INDISCH VERSLAG に據る。(以下同じ)
 面積我が北海道の約一・四倍に達する、東西に細長い島で、山地は南に偏して居る爲、大河は北側に發達して居る。従つて北部に灌溉の行はれる水田が廣く分布する。山地には火山が多く縦谷が存する。氣候は熱帯多雨、軟風、高湿度を特徴とし、南部地方の山地には未だ一部に熱帯原始林を有する。人口密度は中部地區に多く、西部のバタビヤ、東部のスラバヤ近郊も人口稠密である。

三 バ ン タ ム 州 七、九五三

一九〇五	八九五、三九〇	一一二・五七
一九二〇	八九七、三九〇	一一二・八三
一九三〇	一、〇二八、六二八	一一九・九〇

ジャワ面積人口表

ジャワ面積人口表

爪哇島の西端に位する。本州の中央部には「カラン」「プロサリ」の二噴火山があり、其の周縁及東北部沿海地域には灌漑施設の完備した水田が開け、米の單一耕作が行はれて居る。此の州の西南部は「スンダ」海峡に突出して岬角を造り、原始林多く僅かに護謨の如き植栽農が行はれて居る。此の州の人口密度は我が長野縣と同程度であるが、西南部は極めて少い。

四 ジャカルタ州(パタビヤ州)

八、〇二六	一九〇五	二、一〇九、三五二	二六二・九六
一九二〇	一九二〇	三、七八七、三四五	三四〇・七七
一九三〇	一九三〇	二、六三七、〇三五	四三六・〇三

本州は「バンタム」州の東隣に位する。南境は中央山脈に接して高度を増す。北部ジャワ海岸は浸水地が多いが、其の南方の中部地域には水田廣く開け、パタビヤ近郊、東北部地方は米産額が多い。南境の諸山麓には規那、珈琲、茶を栽培する。本州の人口密度は我が埼玉縣より稍大である。

註、一九三〇年の人口減少は南部地區を新設州のバイテンゾルグ州に合併した結果である。

五 バイテンゾルグ

一一、六一五	一九三〇	二、二二二、九九七	一四〇・六八
--------	------	-----------	--------

ジャカルタ州の南部に位し、ジャカルタ州より「バイテンゾルグ」と、プリアンゲル州より「チャンジョン」「スカブミ」二州を加へて一州を建設した。高原地形をなし首都バイテンゾルグは總督の駐在地であつた地で、海拔百八呎の高地にあり、人の居住に最適である。北部のバイテンゾルグ及中部のスカブミ市近郊は水田が多く米産額が多い。中部南部は殆ど山岳で、米だ原始林多く、河谷に米作の行はれる外は、茶、護謨の産を見〇に過ぎない。本州の人口密度は我が山梨縣と同程度である。

六 ブリアンゲン

一三、六五五	一九〇五	二、六九六、七六七	一九八・二三
一九二〇	一九二〇	三、八一〇、六三二	二八〇・一四

一九三〇	一九三〇	三、三三八、七九六	二四五・四四
------	------	-----------	--------

南は印度洋に面し、北部は火山地域で殘餘の大部分は第三紀層山地で構成された、爪哇の最大州である。「チャンジョン」「スカブミ」地區はバイテンゾルグ州に編入された結果面積人口共に減少した。バンドン、チャンジョールには水田開け米産額が多いが、中部南部には原始林散在し、人口密度も一〇〇人以下で、「カツサバ」茶、護謨、規那の栽培が行はれて居る。本州の人口密度は我が静岡縣と同程度である。

註、一九三〇年の人口減少は此の州の一部がバイテンゾルグ州に編入された爲である。

七 チェリボン

五、六二六	一九〇五	一、七〇九、〇〇五	三〇四・〇八
一九二〇	一九二〇	一、七一一、七七八	三〇四・六二
一九三〇	一九三〇	二、〇六九、六九〇	三六八・一四

本州は北爪哇海に面し、ジャカルタ州とペカロンガ州の間に位する。中部にチレマ山嶽其の北面は平野で灌漑の行はれる水田開け、米の産多く、砂糖、落花生之に次ぐ。南部はサワル山等の諸山で形成され、チーク材を産出する。本州の人口密度は我が京都府と同程度である。

八 ペカロンガン

五、六三六	一九〇五	一、九九〇、二八六	三五三・四六
一九二〇	一九二〇	二、二六八、五七一	四〇二・八四
一九三〇	一九三〇	二、六四〇、一二四	四六八・九一

本州は爪哇中部に位し、爪哇海に面する一大長州である。南境にスラメット山脈が走り、其の北麓は帯狀に平野をなして居る。平野には灌漑施設の完備した水田が開け米、砂糖、珈琲、落花生等を産する。東部の森林にはチーク材を産し、南部の

ジャワ面積人口表

ジャワ面積人口表

山嶽地方には玉蜀黍、カツサベの栽培が行はれてゐる。本州の人口密度は我が埼玉縣より稍大である。

四

九	パンニユマス	五、六一二	一九〇五	一、四八六、一二九	二六四・八六
			一九二〇	一、七六七、五二九	三一四・九七
			一九三〇	二、〇六八、四四一	三一八・六二

本州は爪哇中部に位し、南部は印度洋に面し、北及東南部は山脈連立し、其の間をセラユ河が貫流する。河谷には米、珈琲及烟草を産し、高地にはカツサベ、玉蜀黍が栽培されてゐる。本州の人口密度は我が長崎縣と同等で、北西部の山地を除いては何處も三〇〇人以上の普遍的分布をなして居る。

一〇	スマラン	五、四五九	一九〇五	二、六二四、四八五	四八一・四六
			一九二〇	二、七三七、四一八	四九九・八一
			一九三〇	二、〇二〇、六八七	三六三・二九

爪哇島中部に位し 爪哇海に面す。西南方には諸山嶺並立し、其の山嶺と半島部の山嶺地との間には灌溉施設の完備した水田が開け、米の産が多く砂糖も亦少くない。南部地方は玉蜀黍、カツサベ、珈琲、護謨の産が多い。此の州の人口密度は我が京都府と同等である。

註、一九三〇年の人口減少は此の州の一部がレンベン州に編入された爲である。

一一	ケド	五、四五一	一九〇五	二、三三八、六八三	四二八・九九
			一九二〇	二、四五六、五九一	四五六・四一
			一九三〇	二、五三五、九〇〇	四七〇・〇九

爪哇中部スマラン州の南部に位し南は印度洋に面する。東北部は火山質の山脈連立し、中央部にはケドウ高原がある。高原面は水利があり、土地一般に豊饒で、西南方の海岸平地と共に米作、甘蔗栽培が行はれてゐる。山地は玉蜀黍、烟草、カツサベ等の栽培をしてゐる。此の州の人口密度は我が香川縣より稍大で人口居住度高く、就中海岸平地は人口稠密で一平方軒五〇〇人以上となつてゐる。

一二	レンバン	六、〇〇八	一九〇五	一、四九六、七九八	二四九・三三
			一九二〇	一、六六三、八一四	二七七・一六
			一九三〇	一、八七六、四七七	三一一・六六

本州はスマラン州の東部に位し、爪哇海に面する一大州である。南北兩境には石灰質の山脈が横はり、ソロ河の下流一帯の地方が平地となる。産物は米を主とし、玉蜀黍、落花生、カツサベ之に次ぐ。山地はチーク材を産出し、石油も諸所に産す。本州の人口密度は我が長崎縣と同等である。

一三	スラカルタ	六、〇三九	一九〇五	一、五九三、一五六	二五五・四二
			一九二〇	二、〇四九、五四七	三三九・八〇
			一九三〇	二、五六四、八四八	四二四・二一

本州はスマラン州の東南に位する山間の一州である。東にラウ山、西にメラピ山聳え、中央を本島の最大河たるソロ河が貫流して居る。ソロ平原は地味豊饒で物産多く、米の外甘蔗、珈琲、落花生、カツサベ、玉蜀黍を産す。本州の人口密度は我が香川縣より稍大である。

一四	ジヨクジャカルタ	三、一六八	一九〇五	一、一一八、七〇五	
----	----------	-------	------	-----------	--

ジャワ面積人口表

五

ジャワ面積人口表

六

爪哇中部の印度洋岸にある爪哇十六州中の最小州である。此の州の北部東部州境は山地でオバク河は本州中部を貫流して印度洋に注いでゐる。オバク河西側は爪哇第一の沃野で煙草、砂糖、米を産す。東部は石灰質の瘠地で水田少く、人口密度は二五〇人以下である。此の州の人口密度は福岡縣より稍小である。

一五 ボジョネゴロ

六、〇五四

一九三〇

一、七二二、六五九

二八三・五〇

爪哇島東北部に位し、マドウラ島に對す。スラバヤ州、レンバン州の一部を編入した一州である。此の州の西南より東北に川が流れて爪哇海に注ぐ。玉蜀黍を主作物とし、米、煙草も産し、山地にはチーク材が多い。此の州の人口密度は我が佐賀縣と同等である。

一六 マデイウン

六、五〇五

一九〇五

一、三四九、四七二

二〇七・五二

本州は「スラカルタ」「ケデイリ」兩州間に介在し、南は印度洋に面し北はレンバン州に接する。中部はソロ河の一支流マデイオン河貫流し一大平野を爲し、地味肥沃で米の産多く、カツサベ之に次ぐ。海岸地方には石灰質の山嶺横はり、瘠地をなし人口密度も二〇〇人以下である。本州の人口密度は我が千葉縣と同等である。

一七 ケデイリ

六、六一九

一九〇五

一、七七四、五四五

三六八・三八

本州は「マデイウン」「マラン」兩州間に位し、印度洋に面する。南北二境は石灰質の山脈、東西二方は火山を以て包まれ、中部に平野があり、水田には灌溉が行はれてゐる。米を主とし甘蔗、珈琲、カツサベ、落花生、玉蜀黍を栽培する。此の州の人口密度は京都府と同等である。

一八 スラバヤ

四、二九五

一九〇五

二、四三六、九六二

五六七・八五

爪哇島東北部に位しマドウラ島に對し、バタビヤ州と共に最も早く外國の感化を受けた地方である。諸川西より東に流れ、流域は地味肥沃で殆ど灌溉の便を有する水田となつて居る。米、砂糖、珈琲を産する。

一九 マラン州

八、八三九

一九〇五

二、〇二二、一七〇

二二九・七七

爪哇島東部に近き一州で、南は印度洋、マドウラ海岸に對する。河谷は普く水田化されて居るが、山地南海岸には原始林多く、其の地域は人口密度も二〇〇人以下である。北部海岸には米、甘蔗、中部地方には玉蜀黍、南海岸地方には護謨、珈琲玉蜀黍の産が多い。本州の人口密度は我が千葉縣と同等である。

ジャワ面積人口表

七

4443
71

ジャワ面積人口表

ニ	一	〇	一	三	六	キ	一	〇	一	三	六
ニ	一	〇	一	〇	五	九七二、四七五	九五・九五				
一	九	二	〇			一、四九八、八六五	一四七・八八				
一	九	三	〇			二、〇八三、三〇九	二〇五・六七				
二	一	マ	ド	ウ	ラ	州	五、四七一・四	一九〇五	一、七四六、三八六	三一九・一九	
							一九二〇	一、七四三、八一八	三一八・五五		
							一九三〇	一、九六二、四六二	三五八・三一		

爪哇島東端に位し、バリ島に對する。未開の土地多く、原始林は州面積の約半を占めて居る。北西部海岸の一部のみ人口密度二〇〇人以上であつて、玉蜀黍、珈琲、護謨、煙草の栽培が盛である。本州の人口密度は我が愛媛縣と同等である。

本島は爪哇島の東端に位しマドウラ海峽を隔て、爪哇島に對する。島内山脈連互し、地味は石灰質で、山麓に僅少の水田が開けて居るのみである。住民は牧畜漁業を主業とし、農業はカツサバ、玉蜀黍の栽培をなす。本州の人口密度は我が兵庫縣と同等である。

昭和十八年十月十日印刷
昭和十八年十月十五日發行

領價金 十八錢
特別行爲稅相當額 一錢
合計金 十九錢

財團法人 南洋經濟研究所
代表者 小西干比古
編輯兼 發行人 鮎澤二郎
印刷者 鮎澤二郎
印刷所 長野縣岡谷市橋原 鮎澤印刷所
會社名 鮎澤印刷所

發行所 財團南洋經濟研究所出版部
東京都赤坂區表町四丁目一番地
振替貯金口座東京一四五八二二三番

終

